



データベースの概要

医療用医薬品の添付文書に「漫然と投与しない」「月余にわたって漫然と使用しない」などの注意の記載がある薬品、および「具体的な投与期間」について注意の記載がある薬品を対象としたデータベースです。

薬品投与期間のチェックや表示情報としてご利用いただくことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品のうち、内服薬および外用薬を対象としています。

データベースの特徴

「漫然」などの曖昧な期間に関する注意喚起がある薬品に対応

添付文書に「漫然」「月余」の記載がある薬品について、添付文書の該当箇所の抜粋情報を表示することが可能です。

また、「漫然」「月余」に関する文言をマークアップするタグ付けしているため、ハイライトなどにご利用いただくことが可能です。

例

『メチコパール錠500μg』の添付文書（抜粋）

<効能・効果に関連する使用上の注意>

本剤投与で効果が認められない場合、**月余にわたって漫然と使用すべきでない。**

『メチコパール錠500μg』のデータ（概略）

投与期間 (下限)	投与期間 (上限)	記載項目	文書
記載なし	記載なし	効能又は効果に関連する注意	本剤投与で効果が認められない場合、 <attention>月余にわたって漫然と使用すべきでない</attention> 。

『メチコパール錠500μg』のテキスト表示例

【投与期間】記載なし

【記載項目】効能又は効果に関連する注意

【該当文書】本剤投与で効果が認められない場合、**月余にわたって漫然と使用すべきでない。**

具体的な投与期間に関する注意喚起がある薬品に対応

添付文書に「具体的な投与期間」について注意の記載がある場合は日数の値を保持しているため、薬品を投与する期間のチェックや、根拠となる添付文書の該当箇所の抜粋情報を表示することが可能です。

また、期間の情報をマークアップするタグ付けしているため、ハイライトなどにご利用いただくことが可能です。

例

『オングリザ錠 5 mg』の添付文書（抜粋）

【重要な基本的注意】

8.2 本剤投与中は、血糖を定期的に検査するとともに、経過を十分に観察し、常に投与継続の必要性について注意を払うこと。本剤を**3カ月**投与しても食後血糖に対する効果が不十分な場合、より適切と考えられる治療への変更を考慮すること。

『オングリザ錠 5 mg』のデータ（概略）

投与期間 (下限)	投与期間 (上限)	記載項目	文書
90	90	重要な基本的注意	8. 2. 本剤投与中は、血糖を定期的に検査するとともに、経過を十分に観察し、常に投与継続の必要性について注意を払うこと。本剤を<term>3カ月</term>投与しても食後血糖に対する効果が不十分な場合、より適切と考えられる治療への変更を考慮すること。

『オングリザ錠 5 mg』のテキスト表示例

【投与期間】 下限：90日、上限：90日

【記載項目】 重要な基本的注意

【該当文書】 8. 2. 本剤投与中は、血糖を定期的に検査するとともに、経過を十分に観察し、常に投与継続の必要性について注意を払うこと。本剤を**3カ月**投与しても食後血糖に対する効果が不十分な場合、より適切と考えられる治療への変更を考慮すること。

処方例

処方日	処方薬	処方日数	連続投与日数
4/1	オングリザ錠 5 mg	28日分	28日
4/28	オングリザ錠 5 mg	28日分	56日
5/26	オングリザ錠 5 mg	28日分	84日
6/23	オングリザ錠 5 mg	28日分	112日

注意喚起なし

注意喚起なし

注意喚起なし

注意喚起あり

※連続投与日数に対してチェックを用いることが可能です。

文書確認の必要性の有無に関する情報を保持

「漫然」「月余」又は「具体的な投与期間」に関する注意情報において適応症や年齢などが限定されている場合、又は間欠投与や漸減・漸増療法などのように投与期間の日数だけでは判断できない場合に「文書確認フラグ」を保持しているため、データ内の文書の内容を確認すべきか否かを判別することが可能です。

また、文書内の各種条件情報をマークアップするタグ付けしているため、ハイライトなどにご利用いただくことが可能です。

例

『プラノバル配合錠』の添付文書（抜粋）

【効能又は効果】
○機能性子宮出血
○月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全
【用法及び用量】
〈機能性子宮出血〉
1日1錠を 7～10日間 連続投与する。
〈月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全〉
1日1錠を月経周期第5日より約 3週間 連続投与する。

『プラノバル配合錠』のデータ（概略）

表示順	投与期間 (下限)	投与期間 (上限)	文書確認	記載項目	文書
1	7	10	あり	用法及び用量	<<condition>機能性子宮出血 </condition> 1日1錠を<term>7～10日間 </term>連続投与する。
2	21	21	あり	用法及び用量	<<condition>月経困難症、月経周期異常 (稀発月経、頻発月経)、過多月経、子宮 内膜症、卵巣機能不全</condition> 1日1錠を月経周期第5日より約<term> 3週間</term>連続投与する。

※表示順は添付文書における記載順をセットしています。

『プラノバル配合錠』のテキスト表示例

<p>【投与期間】 下限：7日、上限：10日</p> <p>【文書確認】 あり</p> <p>【記載項目】 用法及び用量</p> <p>【該当文書】 〈機能性子宮出血〉 1日1錠を7～10日間連続投与する。</p>
<p>【投与期間】 下限：21日、上限：21日</p> <p>【文書確認】 あり</p> <p>【記載項目】 用法及び用量</p> <p>【該当文書】 〈月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）、過多月経、子宮内膜症、 卵巣機能不全〉 1日1錠を月経周期第5日より約3週間連続投与する。</p>

例

『オゼックス点眼液0.3%』の添付文書（抜粋）

【特定の背景を有する患者に関する注意】

9.7 小児等

経過を十分観察し、**漫然と使用しないよう注意すること**。成人に比べて短期間で治療効果が認められる場合がある。

『オゼックス点眼液0.3%』のデータ（概略）

投与期間 （下限）	投与期間 （上限）	文書確認	記載項目	文書
記載なし	記載なし	あり	小児等	<condition>小児等</condition> @経過を十分観察し、 <attention>漫然と使用しないよう注意すること</attention> （成人に比べて短期間で治療効果が認められる場合がある）。

『オゼックス点眼液0.3%』のテキスト表示例

【投与期間】記載なし

【文書確認】あり

【記載項目】小児等

【該当文書】**小児等**経過を十分観察し、**漫然と使用しないよう注意すること**（成人に比べて短期間で治療効果が認められる場合がある）。

データベースの機能

連続投与期間をチェック

添付文書に記載されている具体的な投与期間の日数を保持しており、処方チェックや服薬指導の際に、投与期間の適正性のチェックを行うことが可能です。

薬品の処方時や処方監査時の注意情報を表示

添付文書に記載されている「漫然」などの曖昧な投与期間や、具体的な投与期間に関する抜粋文書を保持しており、処方チェックや服薬指導の際に、個別指導で指摘されやすい薬品の投与期間に関する注意情報としてご利用いただくことが可能です。

高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>